

## 『麻疹』感染防止のための予防対策

### 1. 麻疹とは

- ◎ 麻疹ウイルスが原因で発生する感染症で「はしか」とも呼ばれます。
- ◎ 感染力が非常に強く、肺炎や中耳炎、脳炎等の合併症を起こすこともあります。

### 2. 感染経路

空気、飛沫、接触感染です。

### 3. 症状

- ◎ 潜伏期間：10～14 日
- ◎ 症状：(カタル期：2～4 日) 38℃前後の発熱、咳、鼻水、くしゃみ、結膜充血、目やに、倦怠感などの症状が現れ、発疹の現れる1～2 日頃前に頬粘膜に白い水疱（コプリック斑）が出現します。  
(発疹期：3～4 日) 体温が一度下がったあと、再び高熱（多くは39℃以上）が出るとともに、特有の発疹が耳の後ろ首、顔から出始め、体幹、上肢、下肢に広がります。  
(回復期：7～9 日) 熱は下がり、発疹も消失します。ただし発疹は黒ずんで色素沈着となり、しばらく残ります。
- ★注意： 合併症として肺炎や中耳炎、脳炎をおこすことがあります。
- ◎ 感染期間：症状がでる1 日前から発疹出現後4～5 日目くらいまでです。

### 4. 感染予防方法

- ◎ 唯一の感染予防方法はワクチン接種で、麻疹に対する免疫をあらかじめつけておくことです（ただし妊婦は接種できません）。
  - ◎ 麻疹ワクチンは、麻疹風疹混合ワクチン（MR ワクチン）が現在一般的です。
- 予防接種法に基づく定期予防接種の対象者は接種費用が無料です。

第1 期：1 歳児

第2 期：小学校入学前の児童

- ◎ 定期予防接種の対象者以外は任意接種となり、自己負担が発生します。

<その他>

学校保健安全法では、第二種の感染症とされており、解熱した後3 日間は出席停止となっています。